



レスポンシブル・ケア

## 「JSRグループ CSR レポート 2017」

### 第三者検証 意見書

2017年7月14日

JSR 株式会社

代表取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

永松 茂樹

#### ■ 報告書検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR レポート 2017(Web版)およびそのハイライト版」(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、独立した第三者の立場から化学業界の専門家であるレスポンシブル・ケア検証センターが意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・千葉工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。千葉工場での調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・数値の算出・集計方法は、本社及び千葉工場において、合理的な方法を採用しています。
  - ・調査した範囲に於いて、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性、文章の分かり易さに関し若干問題があることを指摘しましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア(RC)活動及びCSR活動について
  - ・全社を挙げた安全基盤の確立を目指した活動を評価します。設備面の改造、事故事例のデータベース化と共有化、技術伝承強化に向けた教育システムの整備、HAZOP によるプロセスの再評価・危険要因の抽出などの諸施策の計画的な実施と更なる改善を期待します。
  - ・安全文化の構築として、「相互啓発」型のフェルトリーダーシップを目指した取組みを評価します。ライン管理者が率先して「部下が感じる」行動をすることから始まり、スタッフを含め組織全体が相互啓発型の活性化した職場になること、日々前進することを期待しています。
  - ・JSR の行動指針にも明記されている常に「挑戦する姿勢」、そして「人を活かす取組み」が、有識者との対談を含め、随所に記載されています。働き方改革、デジタル革命に向けた、一層の飛躍を期待しています。
  - ・千葉工場では、RC推進計画の重点テーマを明確にして活動し、安全への取組みを強化していること、アンケートによるKK(危険感受性、危険取行性)MAP を作成し、組織の実態を把握して HH(ヒヤリハット)経験談による注意喚起などで対応していること、ブライندシナリオによる訓練(課長を含めた運転員が参加)手法を採用し、プラント異常時の対応・技術伝承・保安管理の向上に役立っていることなど、多くの取組みを実施されていることを評価します。
- 4) 報告書の特徴について
  - ・本レポートは、JSRグループのCSR活動の取組みを見易さ・読み易さに配慮して報告しており、豊富なデータ類と共に網羅的に報告しているWeb版とそのハイライト版とで構成されています。

以上